Creative Enzymes®

ヒト由来アルカリフォスファターゼ（胎盤）、組換え

Cat. No. NATE-1664

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
別名	ALPP; アルカリフォスファターゼ レガンアイソザイム; 胎盤アルカリフォスファターゼ 1; PLAP-1

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルス
形態	液体
EC番号	EC 3.1.3.1
分子量	This protein is fused with 6x His tag at C terminus (23-506 aa) and the protein has a calculated MW of 53.9 kDa (118aa). The protein migrates at 50-70KDa in SDS-PAGE under reducing conditions.
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	> 2,500 ユニット/mg
濃度	0.5 mg/ml
エンドトキシンレベル	< 1.0 EU / 1μgのタンパク質
単位定義	1ユニットは、37℃でpH 7.5の条件下で1分間に1.0 nmoleのp-ニトロフェニルリン酸（pNPP）を加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	短期間（1□2週間）の保管は+4°Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して-70°Cで保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。